

首都圏都留市会が設立されました

去る、2月18日(日)、新宿区の京王プラザホテルにおいて、首都圏都留市会の設立総会が開催されました。この会は、本市出身者はもちろん、都留文科大学の卒業生、または都留市にゆかりのある方々が、ふるさとである都留市への想いをつなげ、首都圏に在住している会員の皆さまと互いに親睦を深め、都留市の発展・交流の拡大につなげていくのを目的としています。



設立総会では、約180名(市内から約40名)の会員の皆さまが参加する中、会則の承認、役員選出、武井正明会長の挨拶、堀内市長からは「会員の皆さまにも都留市の応援団として様々なご提言をいただくとともに、市民や会員同志の交流を深め、一緒に新たな未来を切り拓いていただきたい」と述べた後、平成29・30年度の予算案と事業計画が満場の拍手によって承認されました。来賓として、山梨県知事代理、山梨県人会連合会長 弦間明様より祝辞をいただきました。その後の懇親会においては、西室陽一名誉会長と武井正明会長の挨拶の後、都留市議会議長小俣武の発声により乾杯、歓談の時間には、会員の方々が交流を深めました。



また、全国合唱大会に出場し、輝かしい成績を残す都留文科大合唱団の歌声とともに、会場が一体となる場面もありました。閉会のことばでは、元NHKアナウンサー國井雅比古副会長(つる大使)による「名ばかりの会員ではなく、私たち会員が都留市のために、何ができるのかを一緒に考え、盛り上げていきましょう」と述べ、懇親会の最後を締めくくりました。会員の方からは、「このような会で交流を図り繋がるのができて本当に素晴らしい、ぜひ今後も続けてほしい」との声もありました。今後の予定としては、市外の会員の皆さまに向けて『八朔祭りとリニア見学センターの見学会』のほか、『都留アルプスハイキング』などの交流イベントを実施していきます。